

科目名	世界史B		学年・必修	3年	必修	使用教科書	『詳説世界史B 改訂版』山川出版社				
			単位数	4		使用副教材	『授業用 詳説世界史B改訂版整理ノート』山川出版社 『山川 詳説世界史図録(第2版)』山川出版社				
学習目標	<p>「世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解させ、文化の多様性・複合性と現代社会の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。」(学習指導要領より)</p> <p>①世界の歴史への興味・関心を高め、文化の多様性と現代社会の特質を多角的かつ広い視野から考察し、歴史的思考力を培う ②世界の歴史の大きな枠組みと流れを、地理的条件や日本の歴史とも関連付けながら理解する ③世界史についての学習資料を適切に選択し、史料に基づいて考察した結果を適切に表現する力を身につける ④現代社会が直面する諸課題について、歴史的観点から考察し、主体的な追究を通して認識を深める ⑤変化する大学入試に対応する力として、獲得した情報を論理的に言語化及び文書化する力(論理的に話せる、書ける)を身につける 以上5つの目標の達成を目指します。</p>										
学習方法	<p>・授業はプリントをもとに進めるので、プリントを整理できるファイルを用意してください。 ・教科書の他、副教材として資料集やワークを使用するので、毎時間必ず持参してください。ワークは各自進め、定期的に提出してもらいます。 ・教員は、プリントにある空欄を補充する単語を黒板に書きます。ただ「写す」だけではなく、自分なりに思考したことや黒板には書かれないこと、資料集などからの補足を積極的に余白へ書き加え、自分独自のプリントに作り上げることを目指してください。</p>										
学習評価	学習評価			科目の評価の観点の種別		評価方法			割合(%)		
		評価の観点	科目の評価の観点の種別				評価方法				
	a	関心・意欲・態度	授業に集中し、関心を持って意欲的に学ぼうとしている。グループワーク等において、全員と幅広く学び合い、「教え合おう」としている。			1	授業での活動	学習活動の取り組みの様子や発言 その成果としてのノートの完成度	20		
	b	思考・判断・表現	資料や授業等より獲得した知識や情報を的確に使い分け、論理的に表現することができる。			2	レポート作成	定期的を実施する小テストと年4回の定期調査習熟し ハルと発表や論述の論理性	30		
	c	観察・実験の技能	グラフ、データなどをもとに事実を正確に読み取り、分析することで、現代社会を多角的に理解することができる。			3	提出物	定期的を実施する小テストと年4回の定期調査習熟し ハル	20		
d	知識・理解	授業で扱った内容を理解し知識を整理できている。 様々な歴史的事象・地理的事象に関連性を持たせながら理解できる。			4	定期調査	定期的を実施する小テストと年4回の定期調査習熟し ハル	30			
地域別との関連性	編纂する単元(教材)		編纂する単元・科目		史料類編の活用や編纂する学習活動の例(議題設定や記述内容の相違点の指摘を行う)						
	1 アジア諸地域の繁栄		現代文B		歴史的事柄について、世界の歴史から関連させた見方と、日本の歴史と関連させた見方の両方を学び、多角的に考察する。具体的には、元寇や日清戦争を「日本から見た視点」と「世界史から見た視点」の両方から学び、仮説の設定や記述内容の相違点の指摘を行う。						
学期	月	単元名(教材)	配当時間	学習の目標・ねらい	学習評価				学習内容と学習のポイント	身に付けられる Okushtiny 5.0	
前期	4 5	1 アジア諸地域の繁栄	12	中華帝国を再現した明朝の動向とともに、朝鮮や日本など東アジア世界の状況を理解する。清の形成した広大な領域支配とその社会や文化とともに、東アジア世界の動向を理解する。トルコ・イラン世界に誕生したイスラム帝国の動向とその社会や文化の特質を理解する。南アジアに誕生したムガル帝国の動向とインド社会や文化の変化、東南アジア交易の発展を理解する。				○	◎	1 東アジア世界の動向 2 漢代の中国と隣接諸地域 3 トルコ・イラン世界の展開 4 ムガル帝国の興隆と東南アジア交易の発展	学びに向かう姿勢
	5 6	2 近世ヨーロッパ世界の形成	12	ヨーロッパ世界の拡大とアメリカ大陸の征服、それに伴うヨーロッパ社会の変革の動きを理解する。ルネサンスのもたらした芸術・思想・科学の革新の内容と意義を理解する。ドイツから始まった宗教改革の理念とその拡大、カトリック教会の対応を理解する。近代国家の原型となった主権国家体制の特色と、体制の形成に向かうヨーロッパ諸国の内乱や戦争の動向を理解する。			◎		○	1 ヨーロッパ世界の拡大 2 ルネサンス 3 宗教改革 4 ヨーロッパ諸国の抗争と主権国家体制の形成	思考・判断・表現力
	6	3 近世ヨーロッパ世界の展開	10	17～18世紀におけるヨーロッパ主権国家諸国の動向を、重商主義と啓蒙専制主義を柱として理解する。ヨーロッパ諸国の植民地争奪と大西洋世界の三角貿易のもたらした国際的枠組みを理解する。17～18世紀におけるヨーロッパ文化の特色と、それを生み出した社会状況を理解する。			◎		○	1 重商主義と啓蒙専制主義 2 ヨーロッパ諸国の海外進出 3 17～18世紀のヨーロッパの文化と社会	思考・判断・表現力
	7	4 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立	10	イギリス産業革命の背景と展開、産業資本主義体制の確立とその影響について理解する。アメリカ独立革命の経緯と、独立が近代民主政治にもたらした影響を理解する。アメリカ独立革命とフランス革命が近代民主政治にもたらした影響を理解する。			◎	○	○	1 産業革命 2 アメリカ独立革命 3 フランス革命とナポレオン	思考・判断・表現力
	8 9	5 欧米における近代国民国家の発展	12	ウィーン体制の成立と、その体制下に広がったヨーロッパ諸国の自由主義とナショナリズムの運動を理解する。クリミア戦争以後の国際秩序の動向と再編、イタリヤ・ドイツにおける国民国家の形成過程、ロシア・オーストリアの皇帝主導の近代化を理解する。ラテンアメリカの独立、アメリカ合衆国の領土拡張と南北戦争以後の発展を理解する。				○	◎	1 ウィーン体制の成立 2 ヨーロッパの再編と新統一国家の誕生 3 南北アメリカの発展 4 19世紀欧米の文	学びに向かう姿勢
	9 10	6 アジア諸地域の動揺	10	西アジアにおけるオスマン帝国支配の動揺と改革、アラブ諸民族の覚醒、イラン・アフガニスタンの動向を理解する。インドの植民地化とその社会の変貌、東南アジア諸国の植民地化の過程を理解する。ヨーロッパ諸国の干渉による清の動揺と近代化改革、日本の開国と台頭による東アジア国際秩序の再編を理解する。				○	◎	1 オスマン帝国支配の動揺と西アジア地域の変容 2 南アジア・東南アジアの植民地化 3 東アジアの激動	学びに向かう姿勢
	10 11	7 帝国主義とアジアの民族運動	12	帝国主義の特質と、帝国主義時代における欧米列強諸国の国家・社会の変化を理解する。帝国主義時代における世界各地の分割や植民地化をめぐる競合と、従属させられた地域社会の抵抗と変容を理解する。欧米諸国の支配を受けたアジア諸国の改革と民族運動の形成を理解する。				○	◎	1 帝国主義と列強の展開 2 世界分割と列強対立 3 アジア諸国の改革と民族運動	学びに向かう姿勢
	11 12	8 二つの世界大戦	16	第一次世界大戦とロシア革命が国際秩序に大きな変化をもたらした。20世紀の激動の機軸となったことを理解する。国際協調を基調としたヴェルサイユ体制下の欧米諸国の動向を理解する。世界恐慌以降の欧米諸国の動向や東アジアの状況から、国際的な緊張が高まる動向を理解する。第二次世界大戦に至る過程と戦争規模の拡大、米ソの国際的地位の高まりを理解する。			○	○	◎	1 第一次世界大戦とロシア革命 2 ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 3 アジア・アフリカ地域の民族運動 4 世界恐慌とファシズム諸国の侵略 5 第二次世界大戦	探究心
	12	9 冷戦と第三世界の独立	13	第二次世界大戦後、米ソを中心とした冷戦体制が成立し、東西両陣営に世界が分裂したことを理解する。中華人民共和国の成立やアジア諸地域の独立の過程を理解する。日本・西欧の経済復興や「冷たい」始まりによって、国際政治や経済が多極化に向かったことを理解する。アジア・アフリカ諸国が第三勢力として躍進し、発言力を強めたことを理解する。ドル＝ショック、オイル＝ショック以降の国際経済の再編、冷戦の終結への流れを理解する。			○	○	◎	1 戦後世界秩序の形成とアジア諸地域の独立 2 米ソ冷戦の激化と西欧・日本の経済復興 3 第三世界の台頭と米・ソの歩み寄り 4 石油危機と世界経済の再編	探究心
	12 1	10 現在の世界	13	東欧社会主義圏の消滅とソ連邦の解体、1990年代の情報技術革命とグローバル経済の進展を理解する。途上国の民主化の進展と、アジア社会主義国家の変容を理解する。世界で多発する地域紛争と同時多発テロ後の戦争、紛争解決や軍縮の試みを理解する。科学技術の飛進と現代文明の培える危機、現代思想や文化の特徴について理解する。			○	○	◎	1 社会主義世界の変容とグローバル化 2 途上国の民主化と独裁政権の動揺 3 地域紛争の激化と深刻化する貧困 4 現代文明の諸特徴	探究心